



## 2.1 環境モニタリング項目（令和7年度）

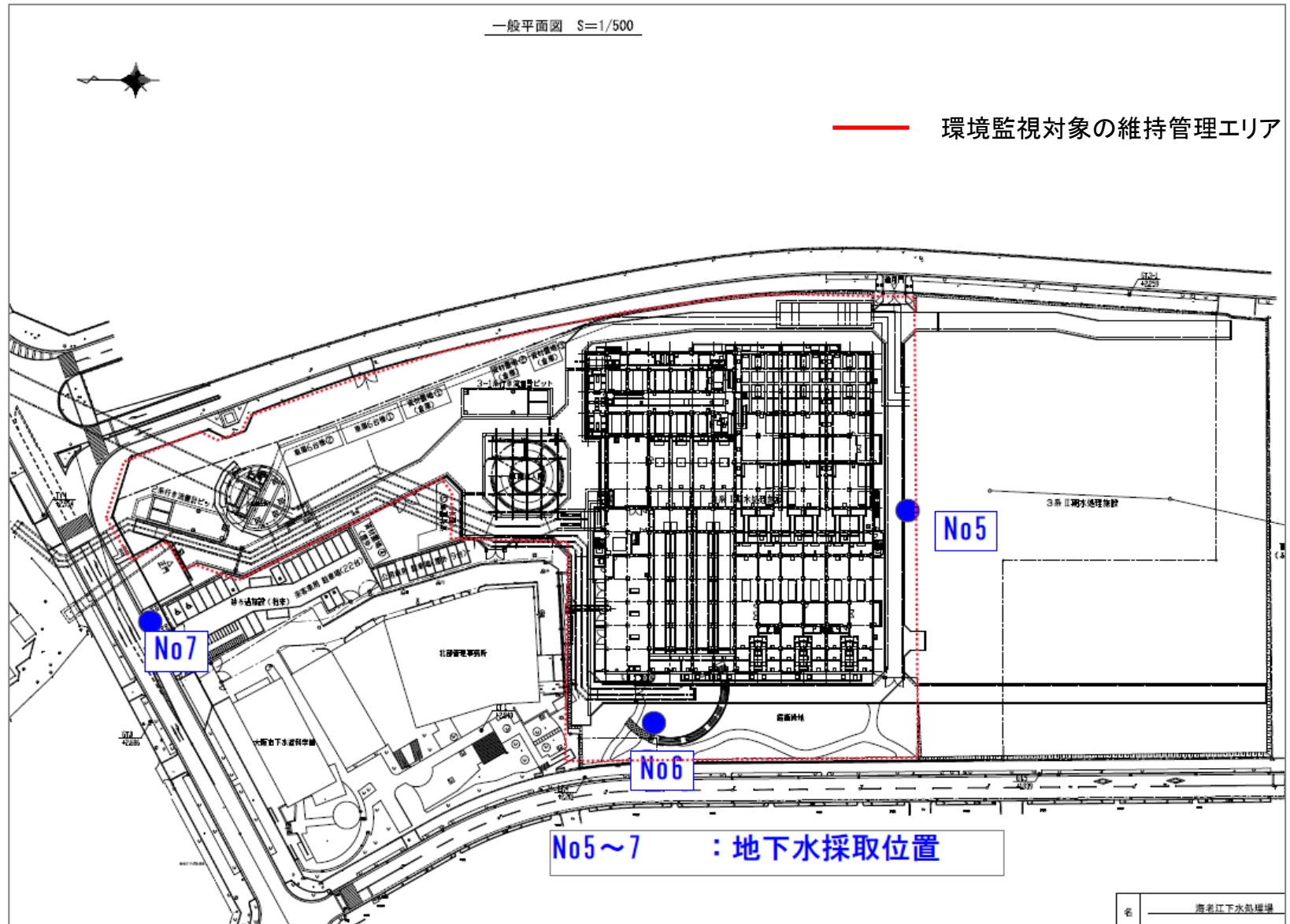
測定項目	地下水
測定方法	外部専門業者による公的分析（測定方法、測定機器の準拠）
計測手法	室内分析機器
測定場所	別紙No5～7
測定頻度	1回/3ヶ月
管理値※1	次頁参照
備考	水位：地下水位計にて測定

※1.：土壤汚染対策法施行規則に準拠した規制基準値

## 2.2 環境モニタリング項目（地下水分析項目）

第一種特定有害物質	管理値 (mg/L)	第二種特定有害物質	管理値 (mg/L)
クロロエチレン	0.002	カドミウム及びその化合物	0.003
四塩化炭素	0.002	六価クロム化合物	0.05
1,2-ジクロロエタン	0.004	シアン化合物	検出されないこと
1,1-ジクロロエチレン	0.02	水銀及びその化合物	0.0005
1,2-ジクロロエチレン	0.04	セレン及びその化合物	0.01
1,3-ジクロロプロペン	0.002	鉛及びその化合物	0.01
ジクロロメタン	0.02	砒素及びその化合物	0.01
テトラクロロエチレン	0.01	ふっ素及びその化合物	0.8
1,1,1-トリクロロエタン	1	ほう素及びその化合物	1
1,1,2-トリクロロエタン	0.006		
トリクロロエチレン	0.01		
ベンゼン	0.01		
		<b>ダイオキシン類</b>	<b>規制値</b>
		ダイオキシン類	1pg-TEQ/L

## 2.3 測定位置図





### 3 令和7年6月25日の有識者会議指摘事項について

---

#### ◆指摘①

- ・地下水のダイオキシン類が、2024年度に管理値を超過した原因を検証すること。

#### ◆指摘②

- ・処理水量の増減が騒音に影響している可能性があるため、  
処理水量と騒音の関係性を確認すること。

## 4.1 令和7年度実施結果（地下水）

---

### (1) 地下水の水質測定結果

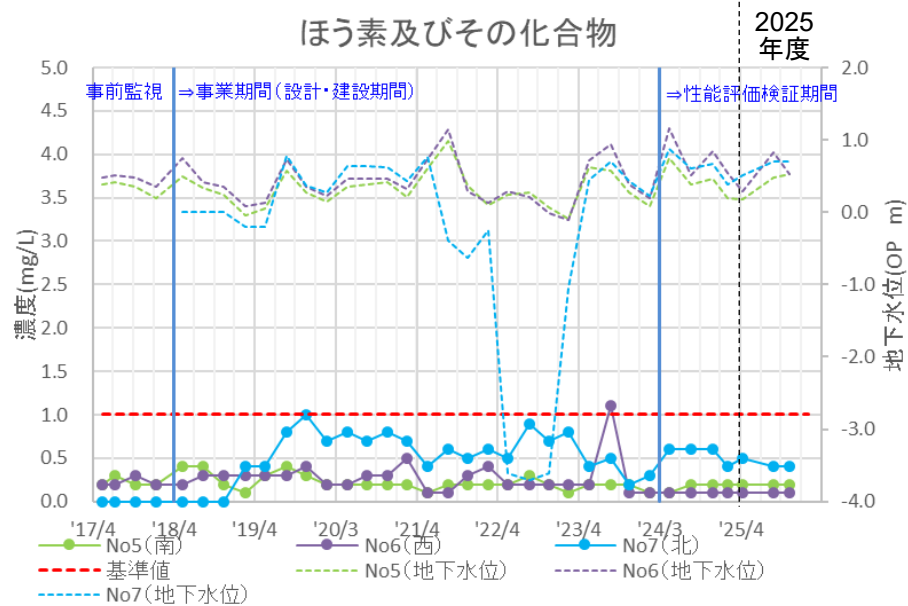
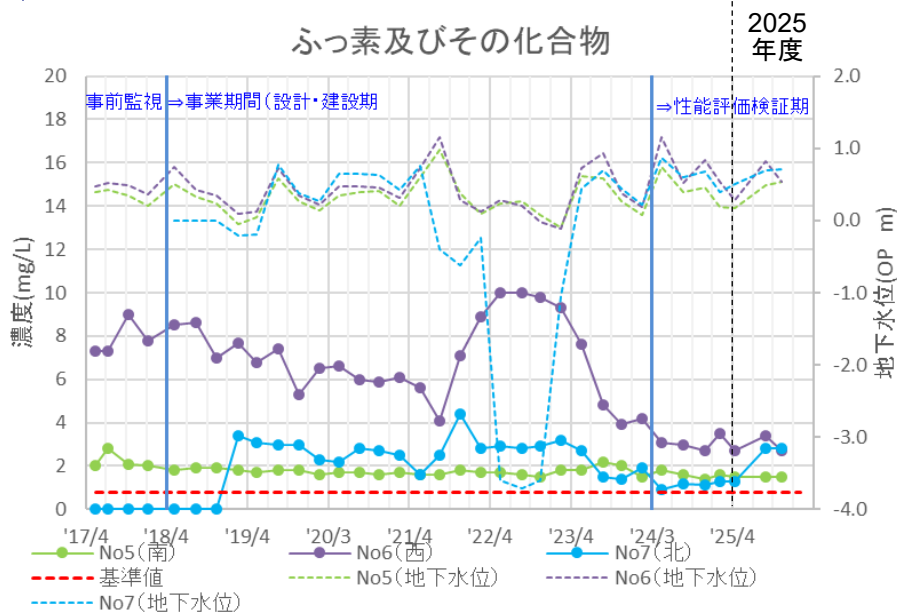
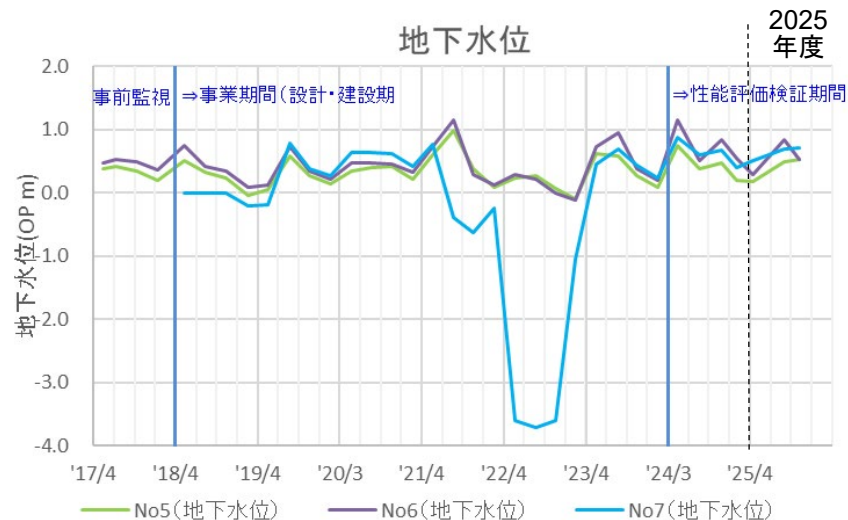
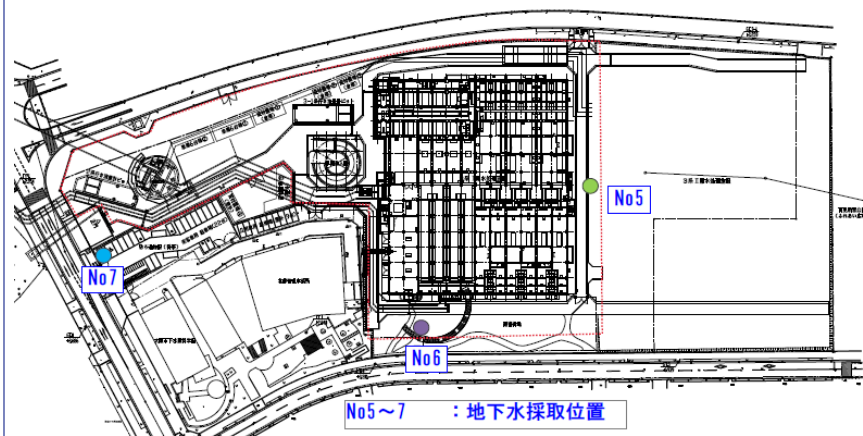
- ・ **ふっ素及びその化合物、セレンおよびその化合物**の2種類が管理値を超過していた。
- ・ 建設期間中超過していたほう素は管理値以内であった。
- ・ 性能評価検証期間1年目で超過していた砒素およびその化合物・ダイオキシンは管理値以内であった。

### (2) 地下水の水位測定結果

地下水位は、令和6年度と同様に、3系施設南側(No5)が低く推移していた。

## 4.2 地下水測定結果(1/2)

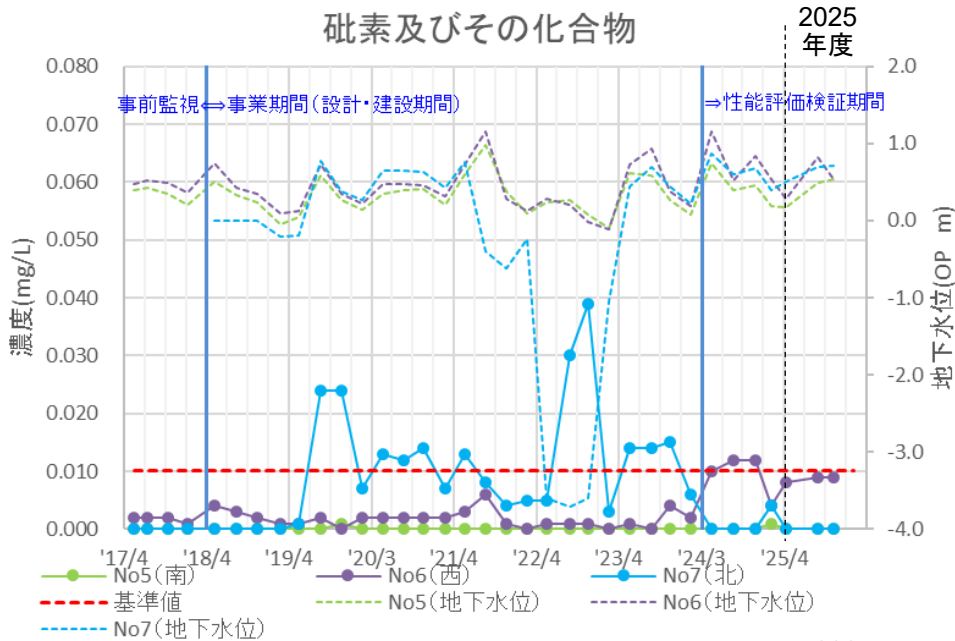
破線(赤色): 管理値  
 実線(緑・紫・青): No5~No7地点の水質測定結果  
 破線(緑・紫・青): No5~No7地点の地下水水位



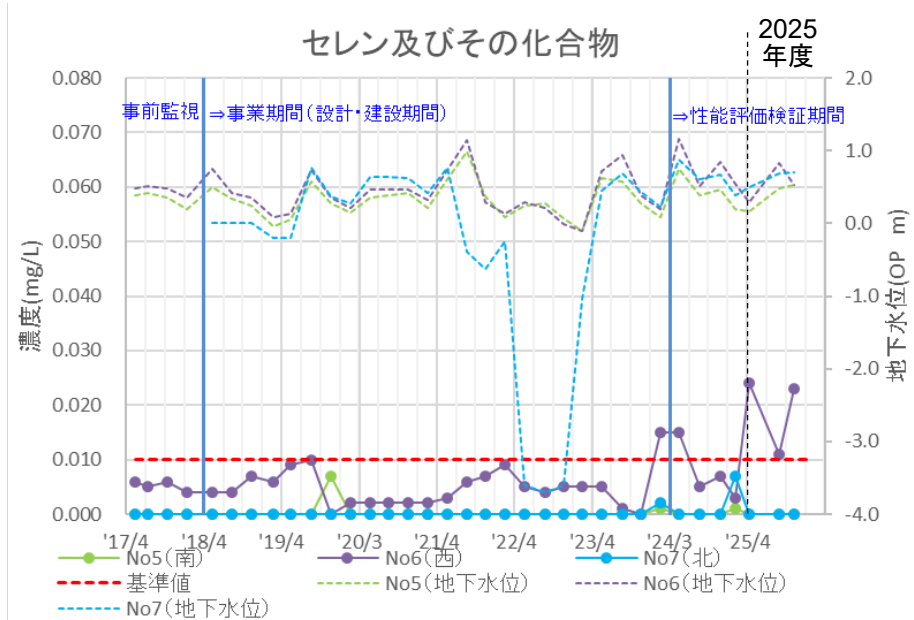
# 4.3 地下水測定結果(2/2)

破線(赤色): 管理値  
 実線(緑・紫・青): No5~No7地点の水質測定結果  
 破線(緑・紫・青): No5~No7地点の地下水水位

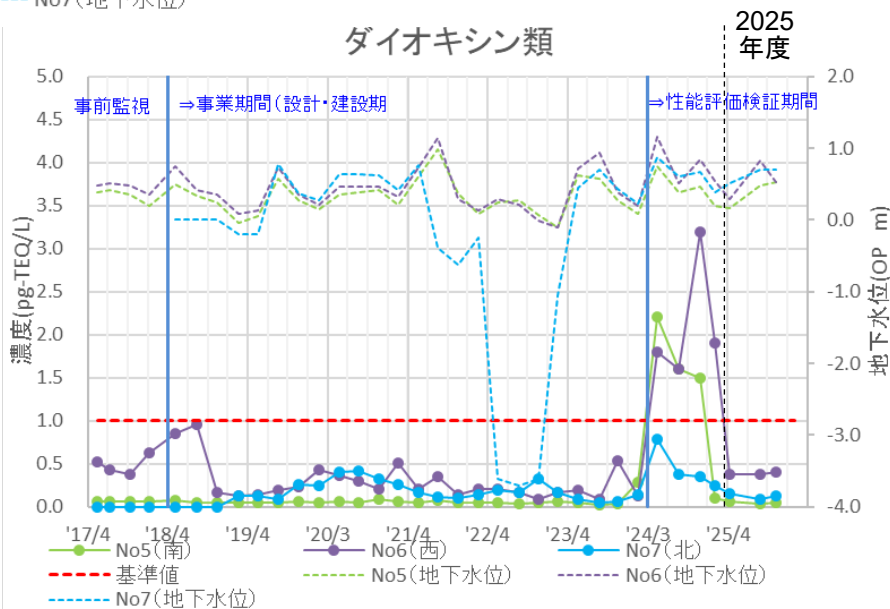
### 砒素及びその化合物



### セレン及びその化合物



### ダイオキシン類

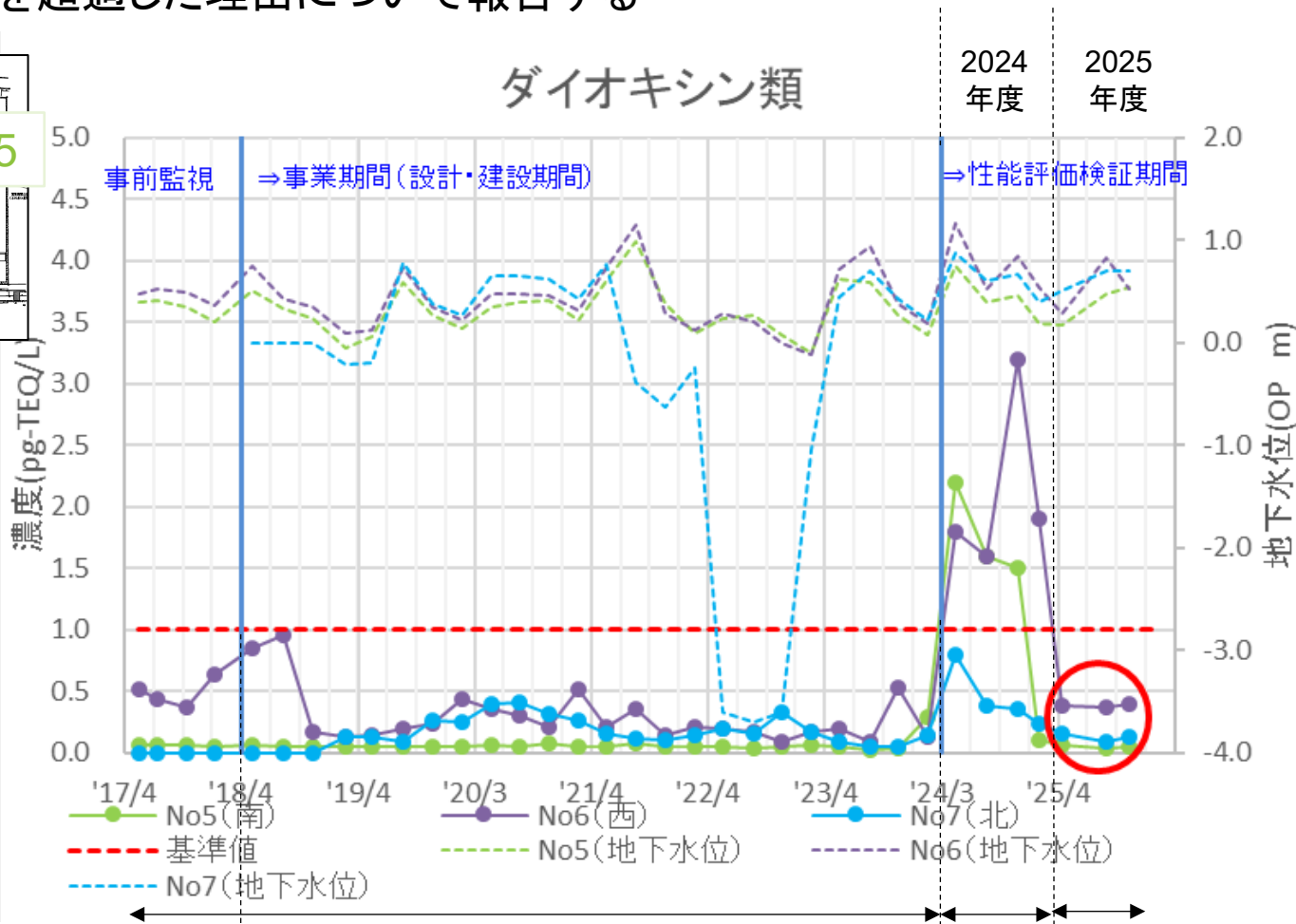
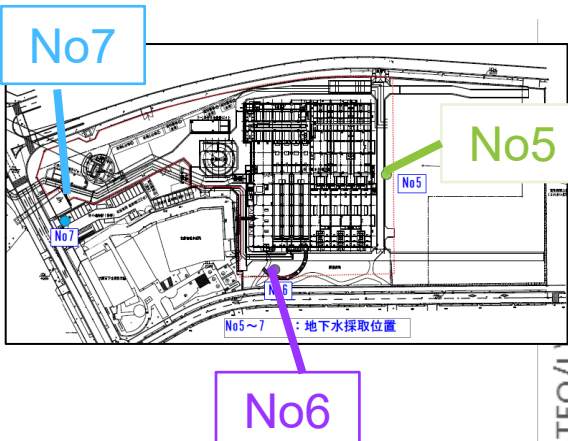


# 5.1 【前回有識者会議の指摘①】 地下水のダイオキシン類の分析状況

今年度より、採水速度を、建設期間と同等の速度に戻した結果、管理値未満を継続中

※採水速度は、法令上のルールなし(「急激な揚水は避ける」の記載程度)

⇒昨年度に、管理値を超過した理由について報告する



管理値未満
管理値超過
管理値未満

## 5.2 【前回有識者会議の指摘①】

### 令和6年度のダイオキシン類の管理値超過に係る原因分析

- ・性能評価検証期間では、建設期間と比較し採水速度を上げていた。  
※採水速度：性能評価検証期間 0.5L/分 相当  
建設期間 0.017L/分 相当(1L/h)
- ・ダイオキシン類は土壌粒子(≒SS)等に吸着していることが多いことから、採水速度を上げることにより土壌粒子を多く吸引したために、ダイオキシン類濃度が高くなったと予想する。
- ・この仮説の妥当性を確認するため、以下の方法にて試験する。

試験方法	試験内容	試験内容詳細	実施時期
①	サンプリング水の採水速度の違いによるSS濃度の確認	異なる採水速度でサンプリング水を採水し、SS濃度を測定する ⇒予想:採水速度が早いほど、SS濃度大	8月下旬
②	SS濃度・サンプリング水の採水速度の違いによるダイオキシン類の確認	建設期間(=速度遅)と性能評価検証期間(=速度早)の採水速度でダイオキシン類を確認 ⇒予想:SS濃度が大きい(=採水速度が早いと予想)方が、ダイオキシン類が多い	
③	サンプリング水のろ過有無の違いによるダイオキシン類の確認	サンプリング水にSSが含まれている場合(=ろ過なし)とSSが含まれていない場合(=ろ過あり)で、ダイオキシン類を確認 ⇒予想:ろ過なしの方が、ダイオキシン類が多い	

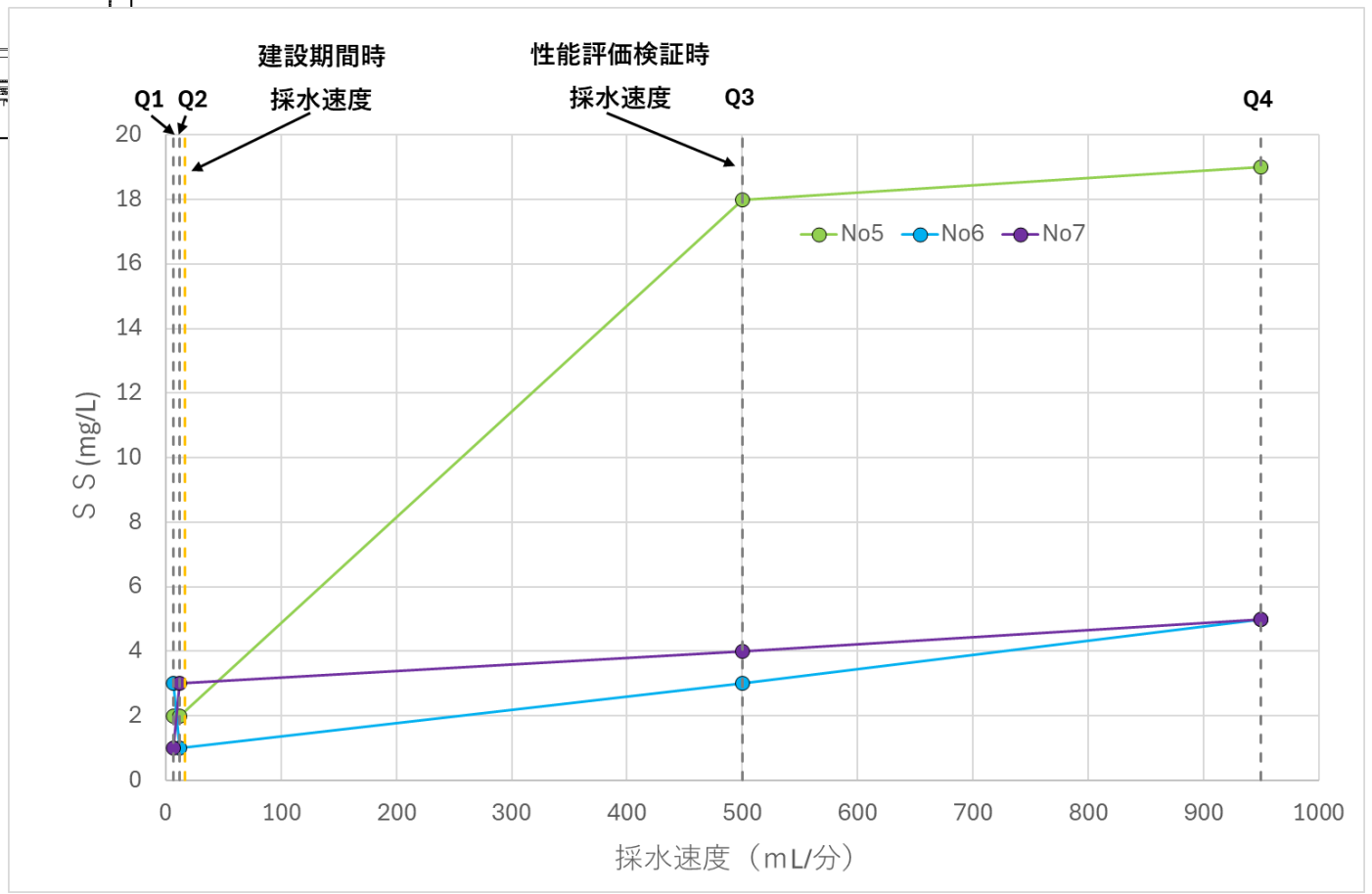
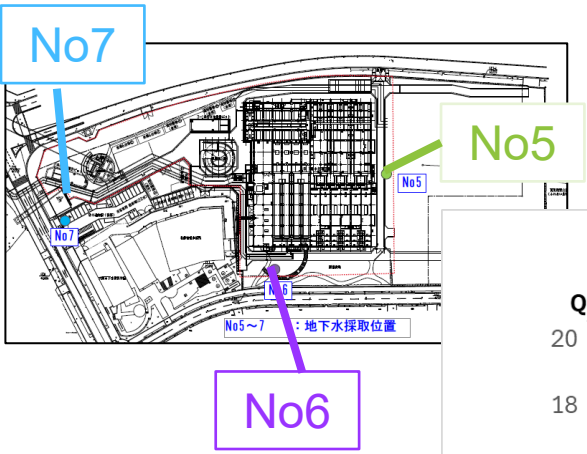
## 5.3 【前回有識者会議の指摘①】 試験結果（総括）

- ・試験結果が、予想どおりの結果となったため、  
採水速度を上げることにより土壌粒子を多く吸引したために、  
ダイオキシン類濃度が高くなったと判断

試験方法	試験内容	試験内容詳細	試験結果
①	サンプリング水の採水速度の違いによるSS濃度の確認	異なる採水速度でサンプリング水を採水し、SS濃度を測定する ⇒予想:吸引速度が早いほど、SS濃度大	予想どおり
②	SS濃度・サンプリング水の採水速度の違いによるダイオキシン類の確認	建設期間(=速度遅)と性能評価検証期間(=速度早)の採水速度でダイオキシン類を確認 ⇒予想:SS濃度が大きい(=採水速度が早いと予想)方が、ダイオキシン類が多い	
③	サンプリング水のろ過有無の違いによるダイオキシン類の確認	サンプリング水にSSが含まれている場合(=ろ過なし)とSSが含まれていない場合(=ろ過あり)で、ダイオキシン類を確認 ⇒予想:ろ過なしの方が、ダイオキシン類が多い	

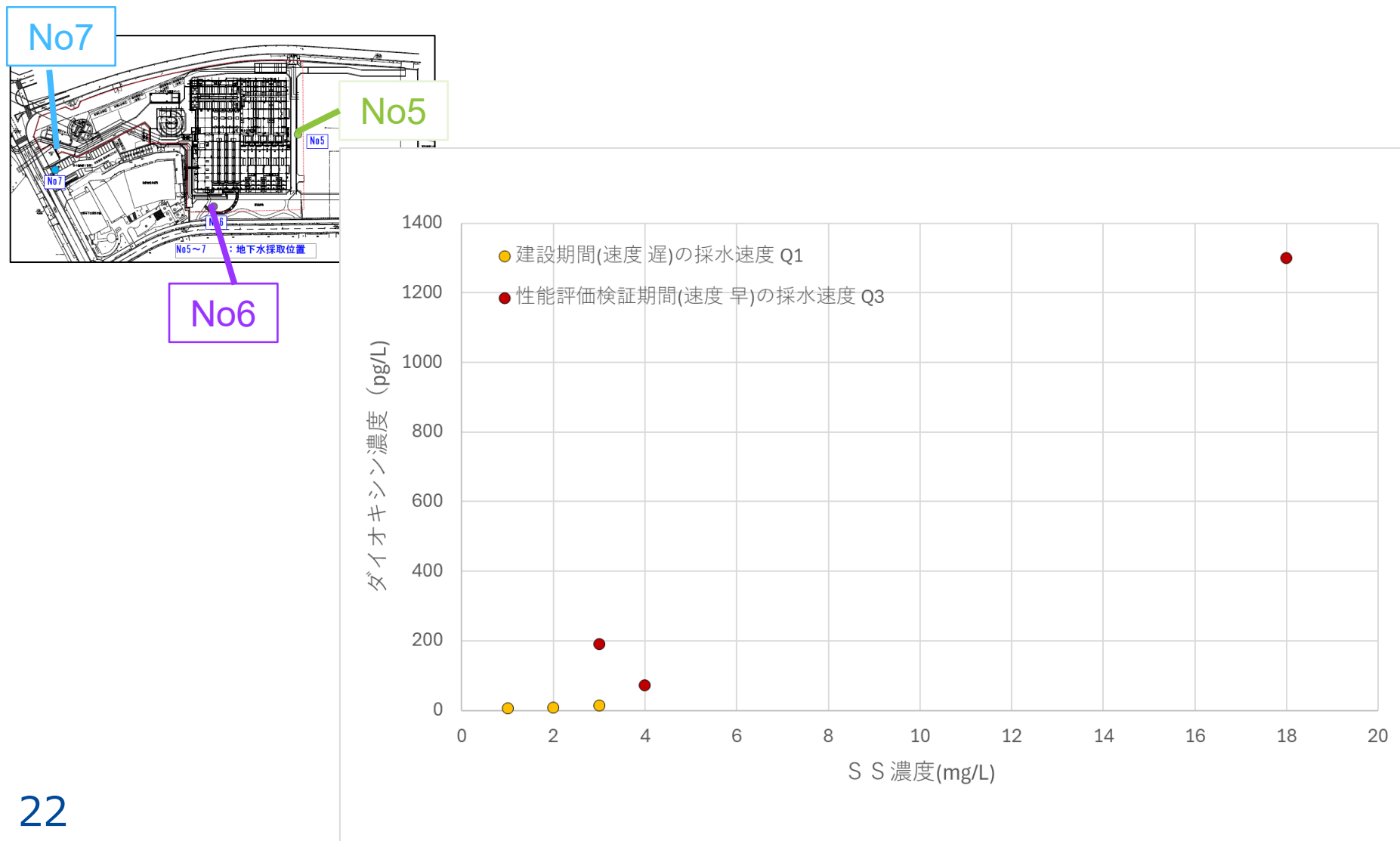
# 5.4 【前回有識者会議の指摘①】 試験結果（詳細）

試験①: サンプルング水の採水速度の違いによるSS濃度の確認  
予想のとおり、採水速度が早い方が、SS濃度が大きい傾向にあることを確認



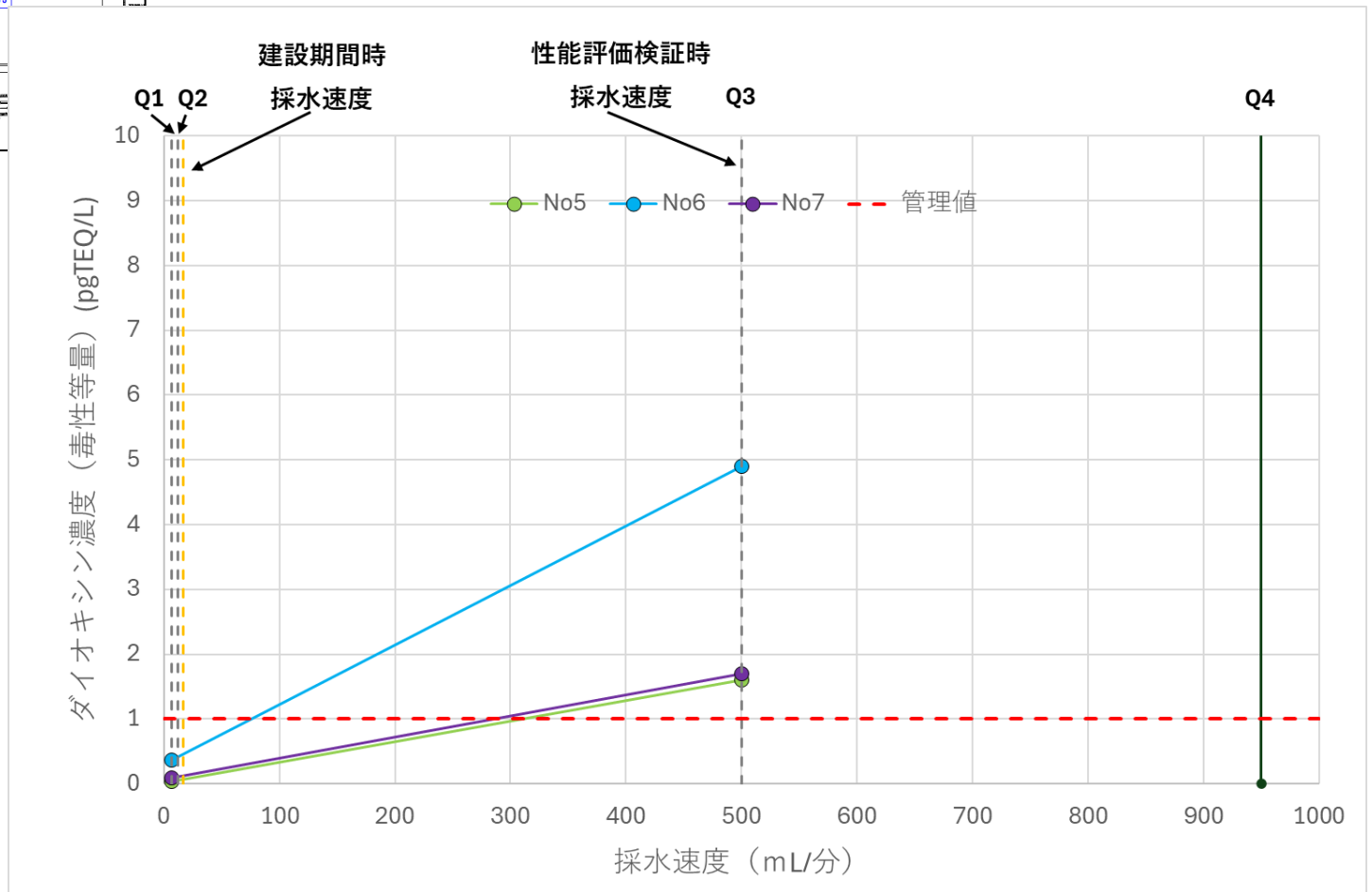
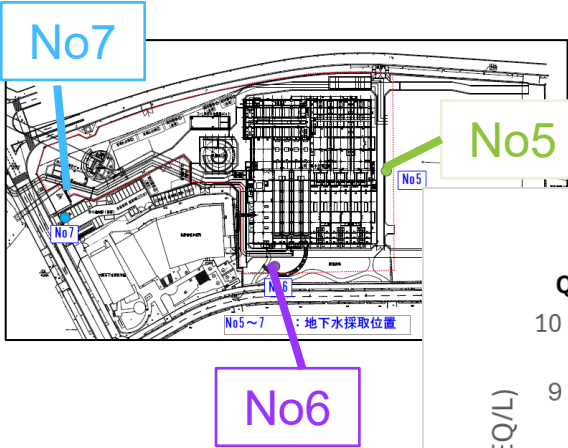
## 5.5 【前回有識者会議の指摘①】 試験結果（詳細）

試験②: SS濃度・サンプリング水の採水速度の違いによるダイオキシン類の確認  
予想のとおり、SS濃度が大きい方が、ダイオキシン類が多い傾向にあることを確認



# 5.6 【前回有識者会議の指摘①】 試験結果（詳細）

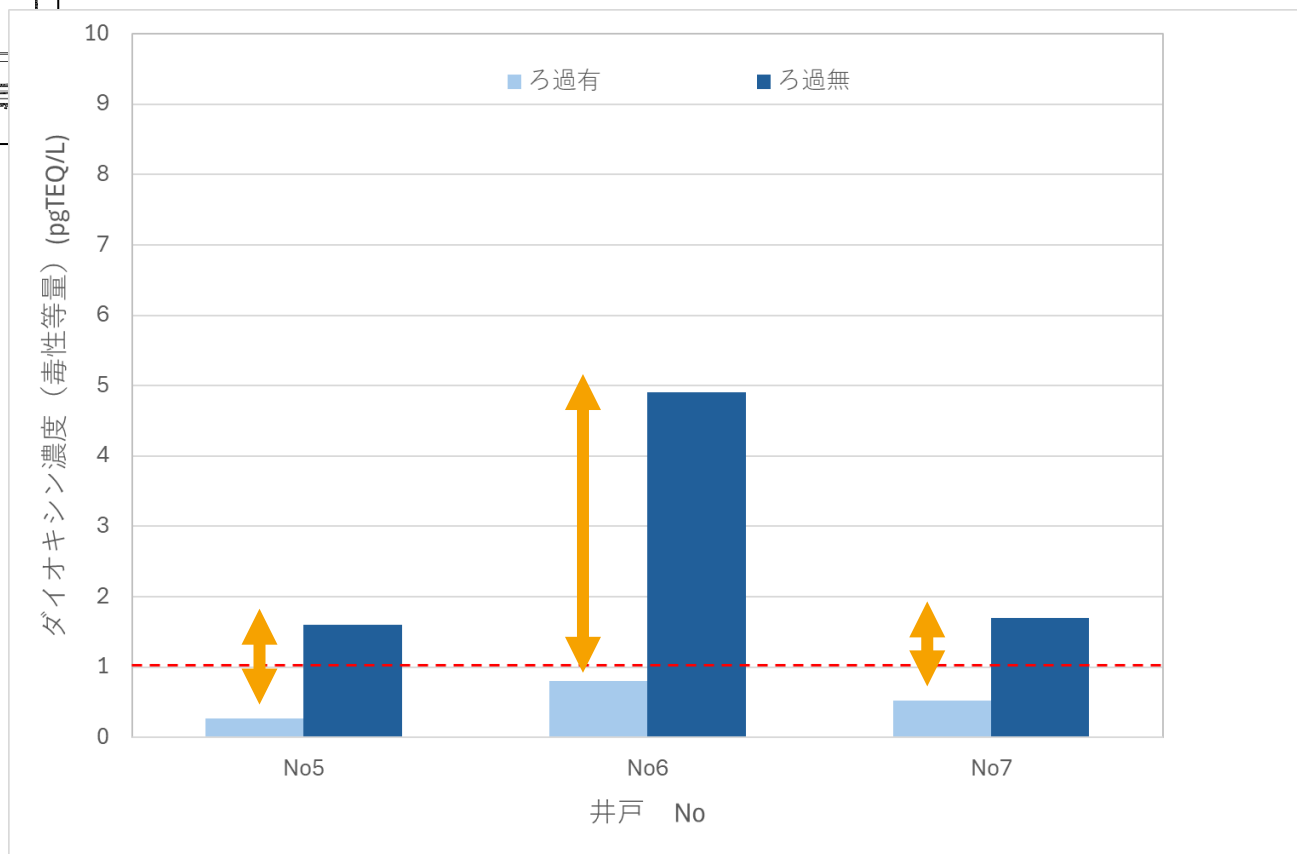
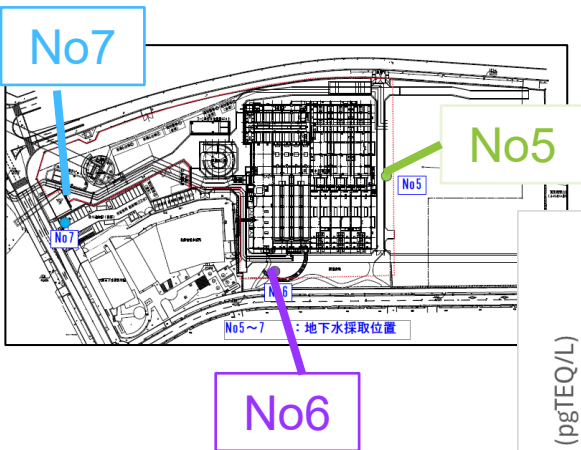
試験②: SS濃度・サンプリング水の採水速度の違いによるダイオキシン類の確認  
予想のとおり、採水速度が早い方が、ダイオキシン類が多い傾向にあることを確認



## 5.7 【前回有識者会議の指摘①】 試験結果（詳細）

### 試験③: サンプルング水のろ過有無の違いによるダイオキシン類の確認

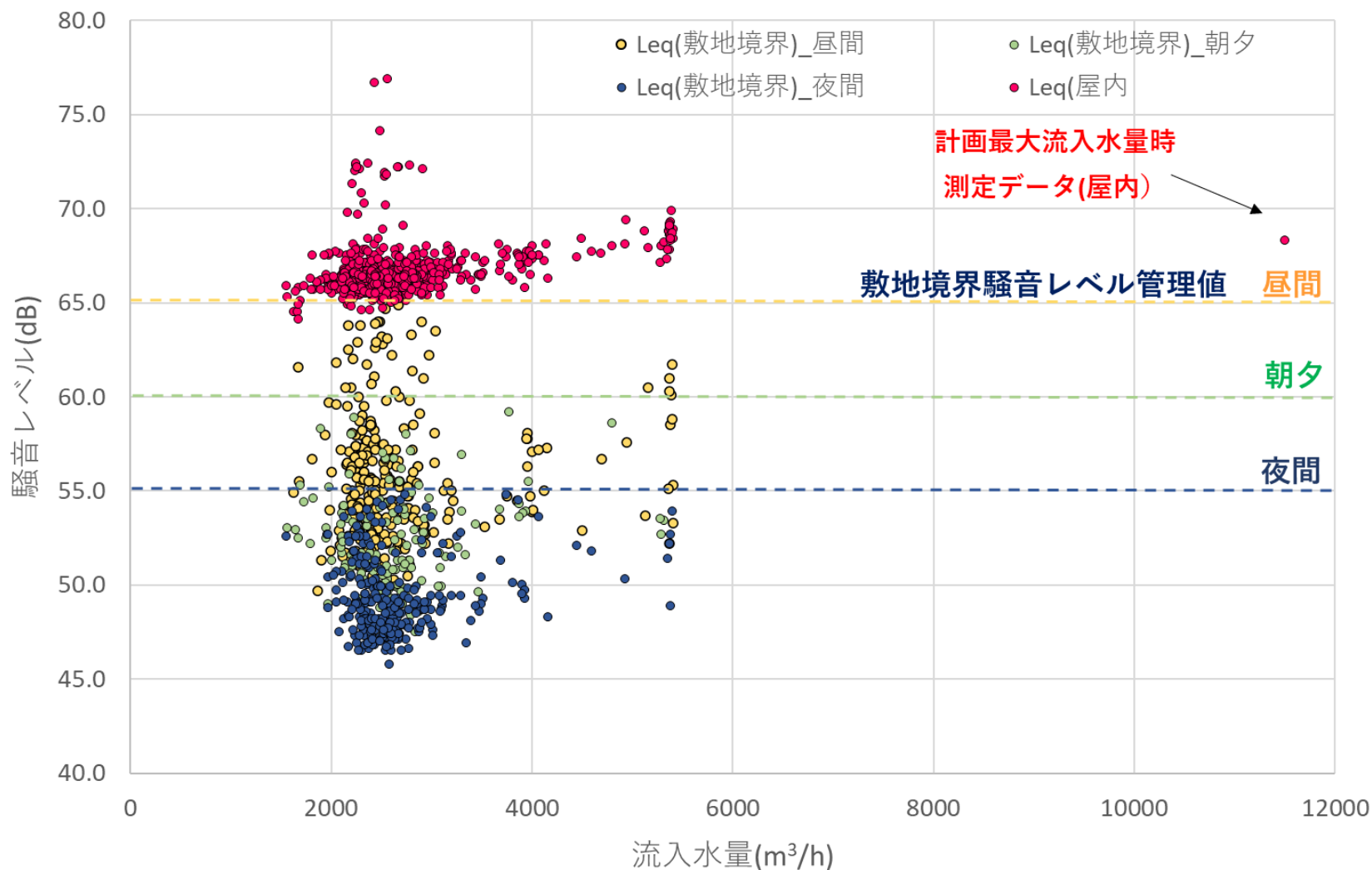
予想のとおり、ろ過を行わない方が、ダイオキシン類が多い傾向にあることを確認



※Q3(=性能評価検証期間の採水速度(速度早))におけるダイオキシン濃度

## 5.8 【前回有識者会議の指摘②】 処理水量と騒音の関係性について

処理水量に大きな変化があると、屋内騒音は微増の傾向がみられたが、外部騒音に影響しないことを確認



## 6 総括

### (1) 地下水

- ・ **ふっ素及びその化合物、セレンおよびその化合物の2種類が、一部の測定箇所にて、管理値を超過した。**  
(建設期間および性能評価検証期間1年目でも超過した実績あり)
- ・ **ダイオキシン類が、性能評価検証期間1年目で管理値を超過した理由は、採水速度を上げることにより、ダイオキシンを吸着している土壌粒子を多く吸引したためであった。**
- ・ 地下水位は、令和6年度と同様に、3系施設南側が低く推移していた。

### (2) 騒音

- ・ 処理水量に大きな変化があると、屋内騒音は微増の傾向がみられたが、外部騒音(敷地境界)に影響しないことを確認した。